



きびしい自然環境が、子どもたちに大切なものを教えてくれた

「チャレンジキャンプ2008 in ながだい」活動報告

十月十一日（土）～十二日（月）まで、一泊二日の行程で、長平青少年旅行村（鯉ヶ沢町長平）を会場に、鶴田町子ども会育成連絡協議会（中村琢司会長）主催「チャレンジキャンプ2008 in ながだい」が開催されました。

今年で十年目を迎える今回のキャンプは、小学生二十一人、中学生十三人、高校生五人、指導スタッフ十人の計四十九人の参加者で行われました。小学生は、ジュニアリーダーを目指す研修として、中高校生は、ジュニアリーダーとしてのスキルアップを目指す研修として、それぞれの目的を持ち参加してきました。

十一日（土）朝八時、公民館へ集合し、中野町長から激励の言葉をいただいた後、一路キャンプ場へ向けて出発しました。キャンプ場に到着し、



△火の大切さはこの自然体験によって知る

このキャンプでは、特別派手なイベントは行いません。自然の中で、寒ければ着ることを覚え、あえて不便な野外炊事を行い、テレビもゲームも携帯電話もないところで、どれだけ自分が頑張れるかを挑戦する、そして、子ども本来の「楽しさ」を知るために行われています。

野外炊事では、中高年生リーダーが小学生たちへ何をやるのか指示していました。ご飯を食べるためには、みんなが働かなければ食

バスから降りた子どもたちの第一声が「寒い」でした。キャンプ場は、鶴田より約四百メートルも標高が高く、気温が鶴田より約五度（当日の鶴田の気温は一六度）も低いのです。スタッフはさすがに薪で火をおこし、子どもたちは暖をとりました。キャンプ場では、火の起こし方、夜のキャンプファイヤーの準備（進行やゲームの練習、トーチ棒づくりなど）を行い「夕飯づくり」へと進んでいきました。



△レクリエーションゲームで見せる子どもたちの笑顔。



つるた調剤薬局

西北中央病院・弘前大学付属病院・国立弘前病院
その他どここの病院の処方せんでも受付けています。

青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字早瀬24-1 TEL 0173-23-1102 FAX 23-1107





①炎の高さが5メートルにもなった豪快なキャンプファイヤー、全員圧倒された②薪での炊事は火加減がむずかしい。キャンプに慣れた高校生リーダーでもなかなかうまくいかない③高校生リーダーが調理をして、小学生が手伝う。④岩木山8合目での記念写真。この日の山は、強い風が吹いていて山頂へ行くことができなかった。⑤班全員でつくった夕食は最高においしい⑥キャンプファイヤーで使うトーチ棒（たいまつ）をつくる時も小学生たちへリーダーが丁寧に教えた⑦閉会式でキャンプでの感想を発表する鶴田小学校4年竹浪泰生君。

べられないことをきちんと教えていたようでした。夕食は全員腹ペコだったようで、作ったカレーライス全てを食べ尽くしていました。

夜に予定していたキャンプファイヤーは、強風と雨のため中止せざるをえなくなり、室内での施設でレクリエーションゲームとダンスの大会となりました。ここで、小学生たちは、「本当の楽しさ」を知ることとなりました。中高生たちが繰り広げるレクリエーションゲームは、体と頭をフルに使い、たとえ失敗してもそれを笑いに変えてしまうほど楽しいものだったのです。

さて、子どもたちのゲームが終わり頃に近づく、神様が微笑んだのか雨が止み、キャンプファイヤーができそうになりました。そこでスタッフたちは「何とかすごい炎を見せてやりたい」の一心から、急ぎょ支度を始め、子どもたちを集めキャンプファイヤーを行ったのでした。

翌朝、天候が回復し、予定していた岩木山山頂への登山ができそうでしたが、山頂付近が強風のため、八合目で断念となりました。自然には逆らうことはできません。

今回のキャンプは、すべての行程を行うことはできませんでしたが、「自然の厳しさ」を知ることができ、仲間との時間を有意義に過ごせたことは、大いに子どもたちの成長につ

ながったのではないでしょう。か。

最後に、閉会式で感想文を読んでもくれた竹浪泰生君（鶴小四年生）の作文を紹介します。

初めてのキャンプで一番楽しかったのは料理です。ぼくは一誠君とまきの担当をしました。ぼくが「火が弱いよ」といったら、優斗さん（鶴田中学校三年・ジュニアリーダー）が来て火を強くしてくれました。ぼくは優斗さんはすごいなあと思いました。寒かったけど、キャンプをしていてぼくは楽しかったです。料理もおいしかったです。そして、ぼくも優斗さんみたいな人になりたいと思いました。

鶴田小学校四年
竹浪泰生



このチャレンジキャンプを主催する
鶴田町子ども会育成連絡協議会

なかむら たくじ
会長 中村 琢司さん

子ども会の事業に携わって、かれこれ20年になります。子ども会には、常に新しい出会いがあり、成長があり、笑顔があり、子どもたちから喜びを与えられ、大変なんですすがやめられません。

このキャンプでは、1年間の子どもの成長が手に取るように分かります。キャンプが終わり、町でキャンプに来た子どもたちに「中村さ〜ん」って、手を振られたときは最高に嬉しいときですね。

◎広報つるた有料広告募集のお知らせ

広報つるたへ有料広告掲載の募集をしています。

毎月の発行部数は約5,000部で、全町に配布され多くの町民の方が目にします。広告を掲載したい企業・団体は、下記までお問い合わせください。なお、有料広告の内容等は、町の告知・案内等とは関係ございません。

問い合わせ先…総務課 まちづくり班 ☎22-2111（内線263）